

第 352 頁

1299T

崇副庶第一九

郵送中ノ軍事私用小包中ニ混入セ
ル砲彈炸裂事件ニ關スル件報告

昭和十四年一月十五日 第百十師團長 桑 木 崇

陸軍大臣 板垣征四郎殿

首題ノ件別紙ノ通報告ス

三月廿三日

昭和十四年一月三十日
陸軍省
第百十師團長
桑木崇

陸軍省
14.1.28
陸軍省

陸軍省
14.2.7
交通課

陸軍省
14.2.1
陸軍省

陸軍省
14.1.17
陸軍省

陸軍

一 事件發生月日時

昭和十三年十二月二十七日四時四十分

一 場所

下關市西細江町下關郵便局軍事郵便課小包部

一 事件關係者所屬官等級氏名

第一百師團^{第百六十三聯隊}第十二中隊

後備役陸軍歩兵上等兵 山根邦之助

一 被害狀況

昭和十三年十二月二十七日四時四十分下關市西細江町下關郵便局ニ於テ北支ヨリ遞送中ノ軍事小包郵便ヲ處理中右山根邦之助發送ノ小包中ノ砲彈炸裂シ該郵便局従業員一名ヲ死亡七名ヲ負傷セシメタリ

尙床及天井壁ヲ破損シ三個ノ行囊ニ被害ヲ及ボセリ

一 事變發生前ノ狀況

山根邦之助ハ昭和十三年七月保定農學院ニ駐屯^屯際同所ノ兵舎中ニ

ヲ支那軍ノ使用セル砲彈（直經約五糎長サ約十五糎）ヲ發見本籍地小學校ニ記念品トシテ寄附セント拾得以來之ヲ保管シアリシカ昭和十三年十二月二十一日田邊少尉ノ小包郵便ヲ第二野戰郵便局ニ發送ヲ依頼セラレタルヲ機トシ該砲彈ヲ古靴下純毛襦袢等ニテ包ミ圓筒形菓子空罐ニ入レ慰問品中ノ不用品ト共ニ包裝シ第二野戰郵便局ニ差出シタリ

該小包郵便ハ部隊ニ於テ検査ヲ受クルコトナク郵便局ニ於テ憲兵ノ検査ヲ受クル際ハ砲彈ハ別ニ慰問品中ノ不用品タル襦袢、袴下、塵紙、手袋等ノミ受檢シ之カ包裝ニ方リ巧ニ砲彈ヲ該小包中ニ包裝セルモノナリ

一 原因

- 1 銃砲火藥類ノ取扱規則及砲彈ノ危險性ニ關スル教育ノ不十分
- 2 軍事郵便取扱趣旨ノ不徹底
- 3 郵便物檢閲ノ不十分

一 處置

- 1 聯隊長ハ右事件ノ通報ヲ受クルヤ該小包ノ發送者ヲ調査シ直ニ保定憲兵分隊ニ捜査ヲ依託セリ
- 2 師團長ハ右通報ニ接スルヤ直チニ下關郵便局ニ弔電（見舞）ノ電報ヲ發スルト共ニ死傷者ニ對シ香料見舞品代トシテ死者ニ百圓傷者一同ニ百五十圓ヲ贈リタリ
- 3 師團長ハ隷下部隊ニ對シ銃砲火藥取扱規則及砲彈ノ危險性並軍事郵便檢閲ニ關シ通牒ヲ發シ注意ヲ促シタリ
- 4 本事件ハ目下軍法會議ニ送付中ナリ

1303

人事 陸軍省 文書 14.2.6

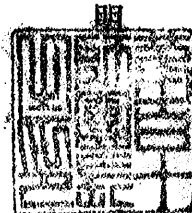
崇人高第一七號
下關郵便局ニ於テ軍事私用小包中ニ混入セル砲彈
炸裂事件ニ關スル責任者處罰ノ件報告

昭和十四年一月二十八日 第百十師團長 桑 木 崇

陸軍大臣 板垣征四郎殿

首題ノ件ニ關シ前報告ノ後報トシテ別紙ノ如ク報告ス

陸軍省 14.2.7 受領 兵務課



陸軍省 昭和十四年 14.2.10 第五号 課長 恩

陸軍省 14.2.13 114 交通課

陸軍省 14.2.13 7 防衛課

軍省 14.2.9

下關郵便局ニ於ケル軍事小包郵便中ニ混包セル砲彈炸裂事件ニ關シ
所屬聯隊長ハ責任者ヲ次ノ如ク處罰ス

一、歩兵第六十三聯隊第十二中隊長

後備役陸軍歩兵中尉 岡 俊雄

輕謹愼二日

右者中隊長トシテ平素ノ精神教育並監督不行届ノ爲部下ノ兵カ自
己ノ小包郵便中ニ檢閲ヲ受ケタル後窃ニ豫テ拾得セル砲彈ヲ混入
第二野戰郵便局ヲ經テ其本籍地ニ發送セシ爲昭和十三年十二月二
十七日下關郵便局ニ於テ係員ノ該小包取扱中爆發シ數名ノ死傷者
ヲ生セシムルニ至リタル科ニ依ル

二、歩兵第六十三聯隊第十二中隊附

後備役陸軍歩兵少尉 田 邊 時 寛

輕謹愼三日

右者昭和十三年十二月一日ヨリ保定飛行場警備隊長トシテ中隊長

力ト離レテ服務中部下ノ兵カ自己ノ小包郵便中ニ内容檢閲ヲ受ケ
タル後切ニ豫テ檢得セル砲彈ヲ梱包シテ第二野戰郵便局ヲ經テ其
本籍地ニ發送セシ爲同月二十七日下關郵便局ニ於テ係員ノ該小包
取扱中爆發シ數名ノ死傷者ヲ生セシメタルハ警備隊長トシテ直接
部下ノ監督指導不行届ナル科ニ依ル